



広がる夢

子どもたちが心豊かでたくましい生き方を 自ら切り拓いていくために
「一人ひとりが生き生きと活動できる学校」を目指して

れいわ ねんどぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさ こうさつ 令和3年度全国学力・学習状況調査の考察③

こうちょう たかはし ひでよし
校長 高橋 秀吉

れいわ ねんどぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさ けっか がっこう ひ つづ こうさつ まじ
令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、12月号に引き続き、考察を交え

ほうこく て ほうごう せいとしつもんし かいとうじょうきょう せいかに かだい かんが こんご がっこう
て報告いたします。生徒質問紙の回答状況について成果と課題について考え、今後の学校

けいえい い おも
経営に生かしたいと思えます。

★本牧中学校(3年生)の特徴(生徒質問紙より)

【結果】

1. 当てはまる 2. どちらかと言えば、当てはまる
3. どちらかと言えば、当てはまらない 4. 当てはまらない

質問番号	質問事項			
(25)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか			
選択肢	1	2	3	4
本牧中学校	18.2%	41.5%	28.9%	11.3%
神奈川県(公立)	10.9%	29.9%	35.9%	23.1%
全国(公立)	12.6%	31.2%	36.2%	19.8%

【考察】

この結果から、本校(3年生)では約6割が、地域や社会をよくするためにどうしたらよいか考えていることとなります。保護者や地域の方と話をすると、この本牧地域は住み心地が良く、ずっと住んでいたいという話をよく聞きます。生徒も本牧地域に愛着があり、この地域を良くしたいという気持ちがあるのかもしれません。

いっぽう しゃかい かんが かくさ ひんこん かんきょうもんだい しぜんさいがい
一方で、社会もよくしたいと 考えているということは、格差や貧困、環境問題や自然災害、
さべつ へんけん じんけんもんだいなど しゃかいかだい とら みらい む なに と く
差別や偏見などの人権問題等さまざまな社会課題を捉え、未来に向けて何かに取り組もうとし
ているということだと思ひます。

いずれにしても、多くの生徒に課題解決への意欲があると判断
できます。これはSDGsを推進している本牧中学校として、と
ても良い傾向だと思ひます。



こんご つぎ もんだいかいけつ ぶ
今後も、次のような問題解決のプロセスを踏まえ、
きょういくかつどう とお せいと もんだいかいけつりょく
すべての教育活動を通して生徒たちに問題解決力を
み つけ させ て いきたいと かんが えています。

【問題解決プロセス】

もんだいきょうゆう
問題共有

げんいんたんさく
原因探索

かいつさくりつあん
解決策立案

い し け っ て い
意思決定

じっこう しゅうせい
実行・修正

ねん 2年 SDGs 特別授業

1月18日(火)5、6校時に、朝日新聞の記者の方を講師にお迎えして、オンラインによるSDGsの特別授業が行われました。テーマは「身近なことを世界とつなげる」。SDGsの観点で新聞記事を読み、身近なことや世界との関わりを考えていくという内容です。「ペタッとSDGsふせん」を使ったワークショップでは、個人の作業、グループでの作業、全体での共有と授業が展開されていき、有意義な学びの時間となりました。